

H30 都立府中東高校 BOXING部

●10月28日 駿台学園高校 遠征、神奈川県浅野高校と合同練習

駿台学園関口監督から神奈川県浅野高校が来るので、「一緒にどうですか」とお誘い頂き、お邪魔しました。スパーリングは新人戦、全日本女子に出場する選手が行いました。

神奈川県の浅野高校は遠征でお邪魔する武相高校同様、全国大会にも出場する強豪校の一つです。声をかけていただき大変ありがたく思います。

天野とスパーをした竹ノ内選手は関東大会の結果により、インターハイに出場した選手です。前日に武相高校で国際大会に出場した田中空選手と行ったスパーをどう活かすか、も練習の一つ、本人には声をかけています。1年生も新人戦本番前にとってもいい経験を積むことができます。

3年生星野は駿台学園の成田選手とスパー。成田選手が星野相手に打ち込んでくるシーンも見られましたが、星野が距離を制していた内容となりました。ここまで練習量が少なかった点の影響は少なからずあったと思いますが、これから自分で持っている課題に取り組み、大会までに調整できると思います。昨年は全国準優勝。今年目指すはその上しかありません。いい準備をさせたいと思います。

関口先生、駿台学園の選手の皆さん、浅野高校の皆さん、ありがとうございました！



2年生天野は全国選手と互角の内容。事前に「前日の田中空が打ってくるところで打ってこないところを感じなさい、そこで自分が攻めなさい」と指示を出しました。スパー後には「田中選手が打ってくるところで打ってこなかった、攻めることができた」との本人談。その通りだと思います。全国で活躍する選手よりもさらに上で活躍する選手とのスパーが活きた瞬間でした。今後は田中選手と手を合わせ、感じたことを自分が行うこと、が新人戦では必須。できれば新人戦で勝利をおさめ、関東選抜に出場できるはずです。



全国屈指の名門駿台学園とのスパー。スパーをした選手は緊張感を持ってスパーに臨みました。駿台の選手と手を合わせた萩原はカウントをとるシーンも見られ、また浅野高校の選手と手を合わせた永井は互角の打ち合いを見せ、駿台関口監督から「いい選手」と、田辺は「気持ちが強く、気持ちが伝わる選手」と声をかけていただきました。「東京、切磋琢磨していきましょう」と関口監督は常々おっしゃっています。全国に名をとどろかせる駿台学園にとって「府中東、嫌だな、面倒くさいな」と思われる学校を目指し、日々練習に臨みたいと思います。新人戦、2年生天野、田辺、1年生萩原、永井、芦川、山口が出場します。応援をお願いします！